

要請番号 (SL13023D02)

募集終了

4

異文化理解を
めざして

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
トンガ	G157 日本語教育		個別	新規 6代目	2年	・ 2024/3 ・ 2025/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育訓練省

2) 配属機関名 (日本語)

教育課程開発部

3) 任地 (ヌクアロファ) JICA事務所の所在地 (ヌクアロファ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

教育課程開発部(CDU)は、中等・初等教育課程のカリキュラムに関わる全般(各教科シラバスの整備、教科書等の作成等)、中等教育修了認定試験(TNFSC)の作成を担っている。2015年より新しい評価方法(SOLO Taxonomy)が導入され、教育訓練省全体で大幅なシラバスの変更があったため、新評価方法の運用、現職教員研修に取り組んでいる。現在、CDUの職員は28人。これまでに日本語教育のシニア海外ボランティア(旧名称:SV)に加えて数学教育SVを派遣した実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

トンガにおける日本語教育は1985年の無償資金協力によるババウ高校の建設をきっかけに1986年より始まり、現在は公立高校4校および私立高校3校において選択履修科目の一つとして正式に開講されている。トンガでは現地日本語教師が育ちつつも、日本語に関するシラバス修正・改訂やカリキュラム管理、教科書改訂、副教材作成等の日本語教育のサポートおよび、中等教育修了認定試験(TNFSC)の作成ができる人材がいなかったことからJICA海外協力隊員が必要であり要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 中等教育修了認定試験(TNFSC)の作成、評価を担当し、評価レポートを作成する。
- トンガ日本語教育のシラバス、カリキュラム管理、教科書及び副教材の修正等を行う。
- 日本語クラスを開講している学校のモニタリングおよび、隊員不在校の授業を支援する。
- 現地の日本語教師会や隊員で構成される日本語部会の運営(ワークショップ開催等)の取り纏め。
- その他、書道コンテスト、スピーチコンテストの運営に携わる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教科書(国定教科書『さくら』)、PC、プリンター、スキャナー、ボイスレコーダー、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

教育課程開発部職員:
部長:女性、50代、大卒

カリキュラムライター男女 30-50代
事務 女性 50代
印刷担当 男性 4名
計28名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（日本語教育に関する資格）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・コースデザインや評価法の知識・開発経験

[学歴]：（大卒） 備考：同僚の教育水準に合わせるため

[経験]：（実務経験）15年以上 備考：日本語教育運営全般に関わるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（15～33℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

派遣前訓練では英語を学習する。現地語は、トンガ派遣後の現地語学訓練で約4週間学習する予定。